

森林官の一日

群馬森林管理署 細野森林事務所 森林官 林 崎 裕 一

森林官になって4ヶ月、ようやく電話のベルを恐れなくなってきたところですが、業務の進め方や来客への対応など、試行錯誤の日々を送っています。

当所管内は浅間山を望む松井田町にあります。土壌は浅間火山の影響を受け、表土の下には軽石の層があり、林内は3歩進んでは2歩下がるような感じです。しかし、水はけがよく、木の成長に適しているため、

管内面積は2,000㏊と小さい方ですが、木材の生産団地となっております。8月には関東局の低コスト路網整備の現地検討会も開かれる予定があります。

一方、管内にはオオタカ等の猛禽類の生息が確認されており、豊かな森林生態系も維持されています。

最近、森林官の仕事の旨みを感じるようになりまし。清涼な山の空気が、沢風は体を透過し汗をさらって



樹齢500年の五郎大杉



元気に育ってくれよ！（植付けの検査）

いきます。澄んだ沢水で顔を洗えば爽快で、弁当は2倍おいしくなります。数多くの人々の去来を見守ってきた樹齢500年の五郎大杉の幹に触れば、感動を禁じ得ません。3度も足を運んでしまいました。山の稜線の検測作業は雲の上で、眼下に広がる真綿のペープメントは神秘的です。収穫調査を成し遂げた時は、得も言われぬ達成感を感じました。

しかし、森林官の仕事はそんなに甘くはありません。行く手を阻むいばらのデیفエンス、蜂の襲撃。獣の気配を感じながら歩いた心細いあの日。つるといっしょに絡み付いていたへび。色々といやなことも乗り越えていかなければなりません。

また、隣の同年の森林官に密かにライバル心を燃やし、無理をしたこ

ともありましたが、今は無理せず油断せず、一步步々着実に行くことが大切だと思うようになりました。森林官は地域の中で気になる存在のようです。自分はこの住人ではないので、地域の人はどんな森林官が来たのか気になっているようです。地域の人と世間話をしたり、頼みごとをしてみたり、少しずつですが、外へ関係が広がりがつあります。この関係を大切にしていきたいと思ます。

現在、心強い頑固者の基幹作業職員と、臨時作業職員の2名が自分を支えてくれています。まだ、自分は森林官として空回りぎみです。早く森林官として一人前になって、未来につなぐ山作りを自信をもって語れるようになりたいと思ます。



疲れを癒してくれる仙ヶ滝